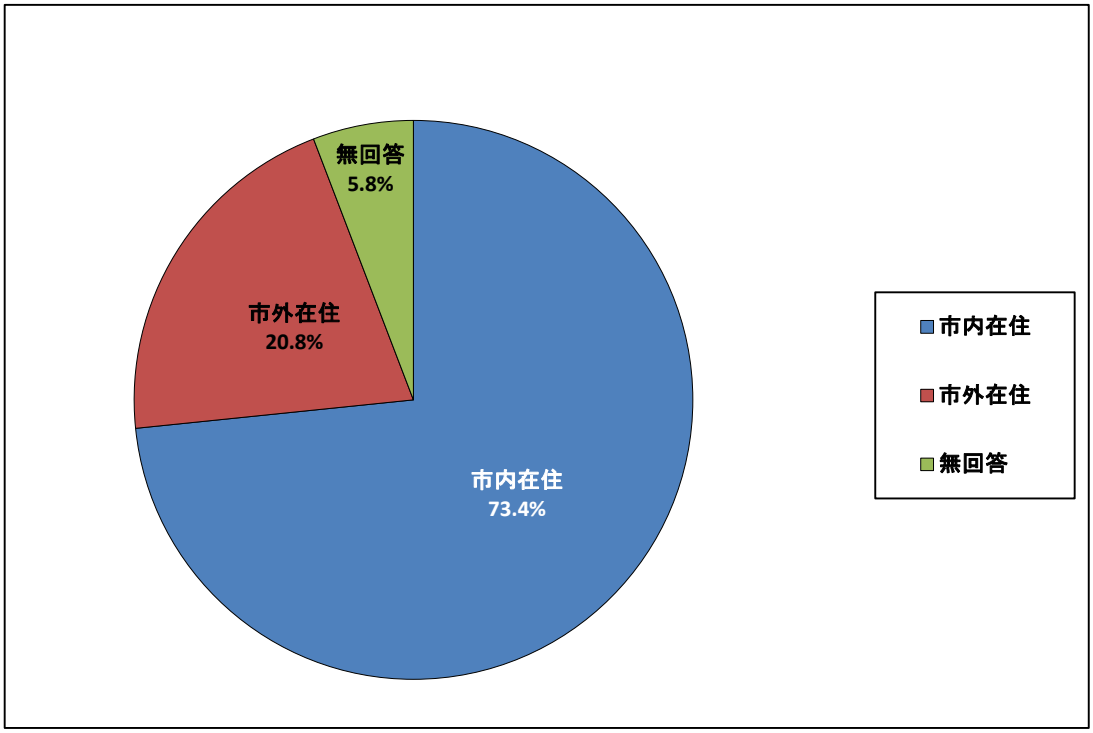
# 農業振興地域整備計画に関する意向調査の結果

| 意向調査の概要 | |
|---|---|
| 調査対象農家の基準 | 市内に農地６００㎡以上を所有又は耕作する人 |
| 調査対象農家数 | １，２９３戸 |
| 回答農家数 | ７８９戸 |
| 回収率 | ６１．０％ |

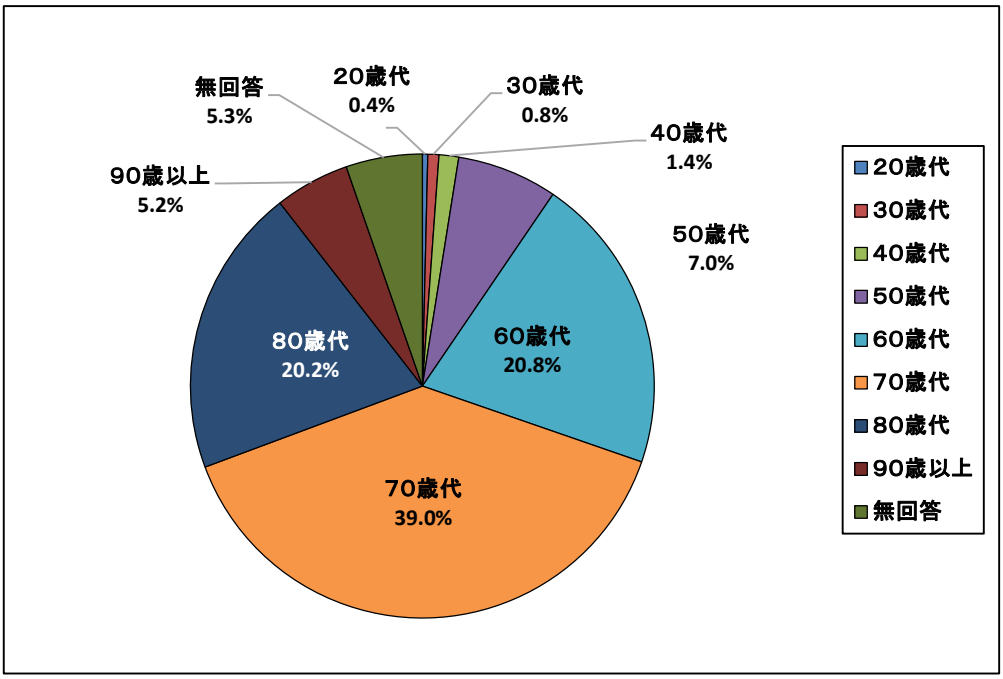
問　農業経営主（主に農業経営を営んでいる方）のことについてお聞きします。
市内にお住まいですか。（1つだけに○）

| 項目 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 市内在住 | 579 | 73.4% |
| 市外在住 | 164 | 20.8% |
| 無回答 | 46 | 5.8% |
| 合計 | 789 | 100.0% |



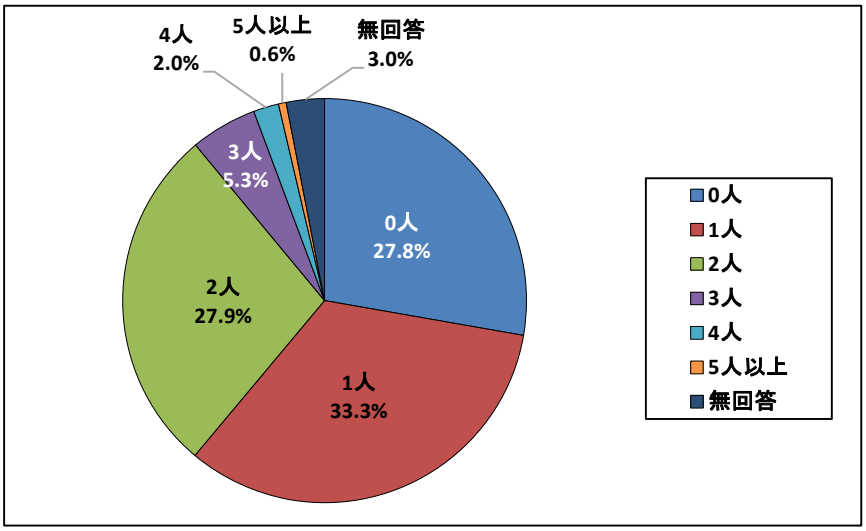
問　農業経営主（主に農業経営を営んでいる方）のことについてお聞きします。
農業経営主の年齢はおいくつですか。（1つだけに○）

| 項目 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 20歳代 | 3 | 0.4% |
| 30歳代 | 6 | 0.8% |
| 40歳代 | 11 | 1.4% |
| 50歳代 | 55 | 7.0% |
| 60歳代 | 164 | 20.8% |
| 70歳代 | 308 | 39.0% |
| 80歳代 | 159 | 20.2% |
| 90歳以上 | 41 | 5.2% |
| 無回答 | 42 | 5.3% |
| 合計 | 789 | 100.0% |



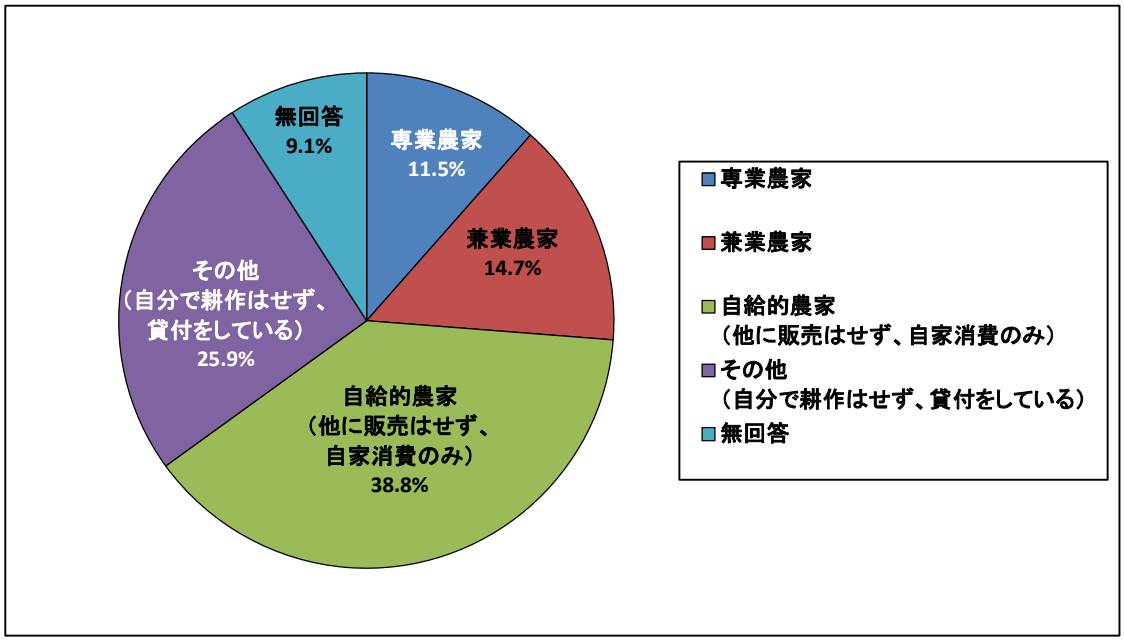
問　　あなたの世帯についてお聞きします。
農業従事者（年間30日以上農業に従事）は何人いますか。（一つだけに〇）

| 項目 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 0人 | 219 | 27.8% |
| 1人 | 263 | 33.3% |
| 2人 | 220 | 27.9% |
| 3人 | 42 | 5.3% |
| 4人 | 16 | 2.0% |
| 5人以上 | 5 | 0.6% |
| 無回答 | 24 | 3.0% |
| 合計 | 789 | 72.2% |



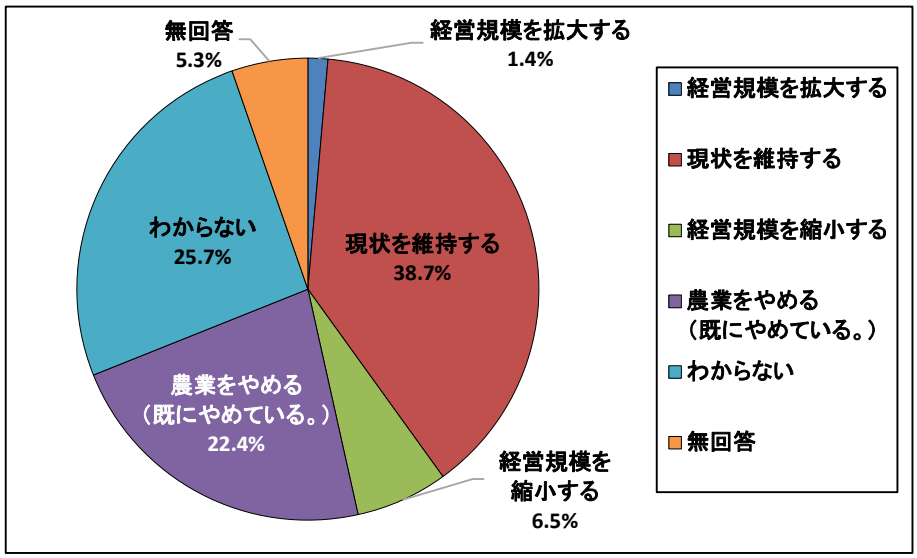
問　農業経営についてお聞きします。
主となる農業経営形態はどれですか。（1つだけに○）

| 項目 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 専業農家 | 91 | 11.5% |
| 兼業農家 | 116 | 14.7% |
| 自給的農家<br>（他に販売はせず、自家消費のみ） | 306 | 38.8% |
| その他<br>（自分で耕作はせず、貸付をしている） | 204 | 25.9% |
| 無回答 | 72 | 9.1% |
| 合計 | 789 | 100.0% |



問　今後の農業経営についてお聞きします。
あなたの家の農業経営を5年後どうしたいですか。（当てはまるものに〇）

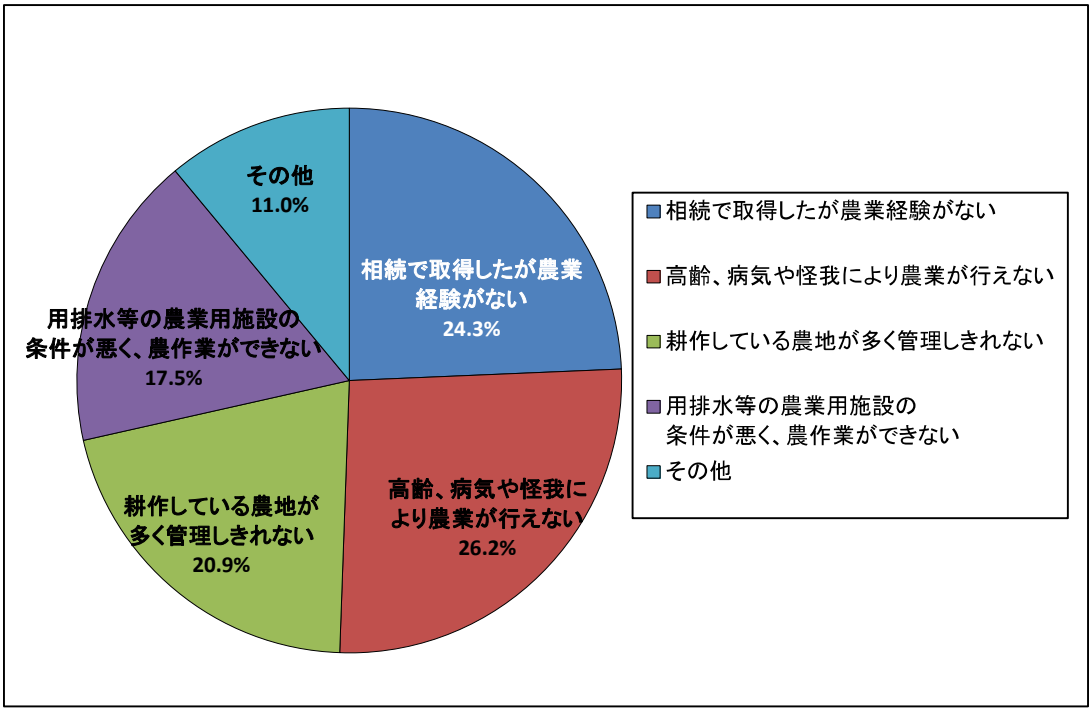
| 項目 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 経営規模を拡大する | 11 | 1.4% |
| 現状を維持する | 305 | 38.7% |
| 経営規模を縮小する | 51 | 6.5% |
| 農業をやめる（既にやめている。） | 177 | 22.4% |
| わからない | 203 | 25.7% |
| 無回答 | 42 | 5.3% |
| 合計 | 789 | 100.0% |



問　今後の農業経営についてお聞きします。
不耕作の理由はどれですか。（1つだけに○）
（無回答：526件）

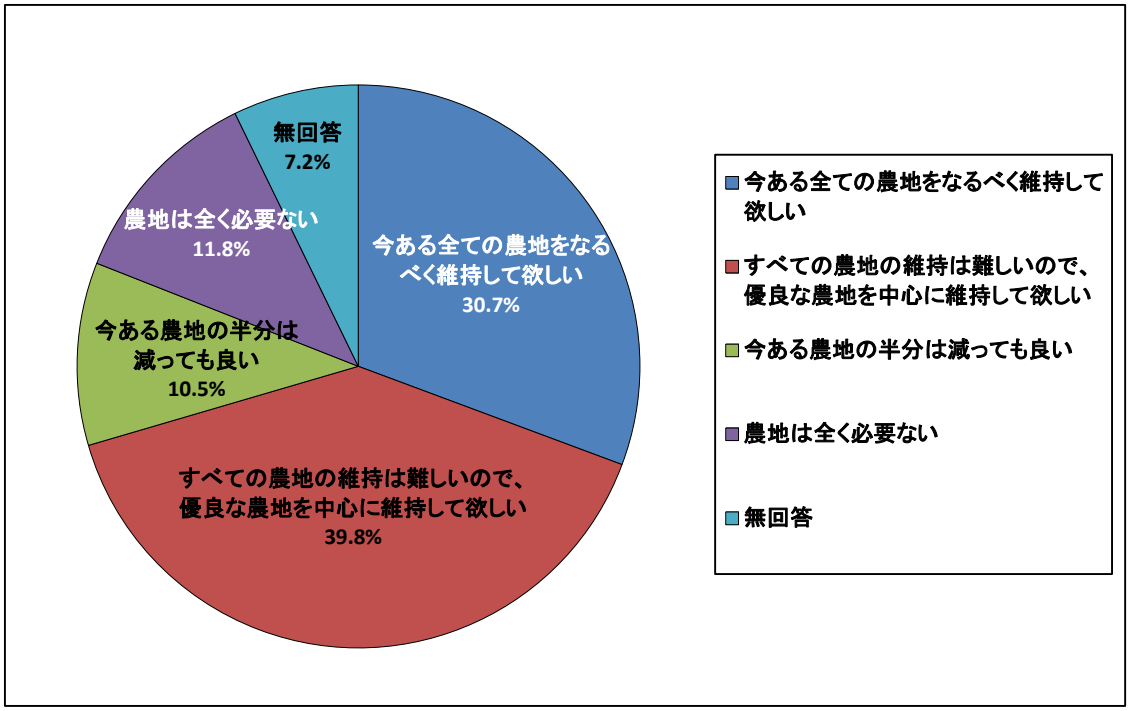
全体

| 項目 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 相続で取得したが農業経験がない | 64 | 24.3% |
| 高齢、病気や怪我により農業が行えない | 69 | 26.2% |
| 耕作している農地が多く管理しきれない | 55 | 20.9% |
| 用排水等の農業用施設の<br>条件が悪く、農作業ができない | 46 | 17.5% |
| その他 | 29 | 11.0% |
| 無回答 | 526 | 66.7% |
| 合計 | 263 | 100.0% |



問　今後の農地の維持についてどう思われますか。（1つだけに○）
農地の役割を考慮したうえで選択してください。

| 項目 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 今ある全ての農地をなるべく維持して欲しい | 242 | 30.7% |
| すべての農地の維持は難しいので、優良な農地を中心に維持して欲しい | 314 | 39.8% |
| 今ある農地の半分は減っても良い | 83 | 10.5% |
| 農地は全く必要ない | 93 | 11.8% |
| 無回答 | 57 | 7.2% |
| 合計 | 789 | 100.0% |



## 調査結果の分析について

本アンケート調査では、高齢化などによる農業者の減少といった、地域農業が直面する全国共通の課題が改めて浮彫りとなりました。

しかしながら、今後の農地の維持に関する意向について注目すると以下の結果となりました。

・「今ある全ての農地をなるべく維持して欲しい」と回答された方が 30.7%
・「すべての農地の維持は難しいので、優良な農地を中心に維持して欲しい」 と回答された方が 39.8%

農業者が減少する中、全ての農地を維持することは困難であるものの、耕作しやすい優良農地等を中心に、本市の大切な資源である農地を維持していくことについては、回答者の約7割が望む結果となりました。

以上のことから、本市の農業振興地域整備計画においては、「優良な農地等を中心とした農地の保全」に重点を置き、見直しを行う必要があると結論付けました。